

サービス・プロバイダーへの転換 **VX**

従来の大規模アセット中心のビジネスにとどまらず、徹底したお客さま視点に立ち、ニーズや課題と向き合うことで、お客さまに新たな価値を提供し続ける企業グループに生まれ変わります。

エネルギーおよびその周辺領域での事業

エネルギーと新たな価値の一体的な提供をめざして

カーボンニュートラルに向けた社会的潮流の中、再生可能エネルギー・蓄電池をはじめとした分散型エネルギーリソースの加速的普及やモビリティの電動化・自動化により、国内外における経済活動や皆さまの暮らしは大きく変化していくと想定されます。

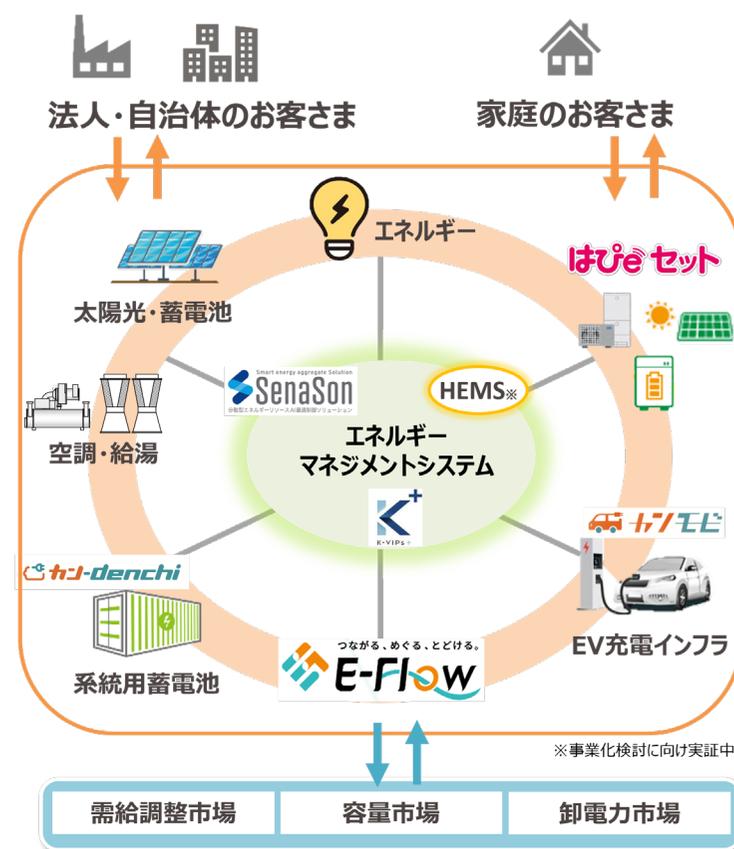
このような環境変化を、当社グループの成長機会ととらえ、エネルギーとその周辺領域を主に、これまで小売電気事業を中心に培ってきたエネルギーマネジメントに関するノウハウや、法人・家庭のお客さまとの関係性も活かしながら、新たな価値を創造しています。そして、エネルギーと新たな価値の一体的な提供を通じたお客さまとの関係性の深化・拡大に取り組んでいきます。

分散型エネルギーリソースのプラットフォーマーとして

分散型エネルギーリソースの開発には、当社グループはもとより、国内外の多くのプレイヤーが参画しており、今後も拡大が見込まれています。それらのリソースを束ねて最適運用するプラットフォームビジネスにおける先駆者として、当社グループ会社「E-Flow(同)」は、順調な成長を続けています。今後も、お客さまから受託したリソースを、同社独自の最適運用AIを搭載したプラットフォームを活用し、市場運用することでお客さまの収益性向上を図っていきます。

同社は、2030年度までに全国で分散型リソースの市場取引量250万kW、市場取引高300億円をめざすとともに、分散型エネルギーリソースのさらなる普及拡大にも貢献してまいります。

当社をめざす価値提供イメージ



サービス・プロバイダーへの転換 **VX**

蓄電所事業のパイオニアとして

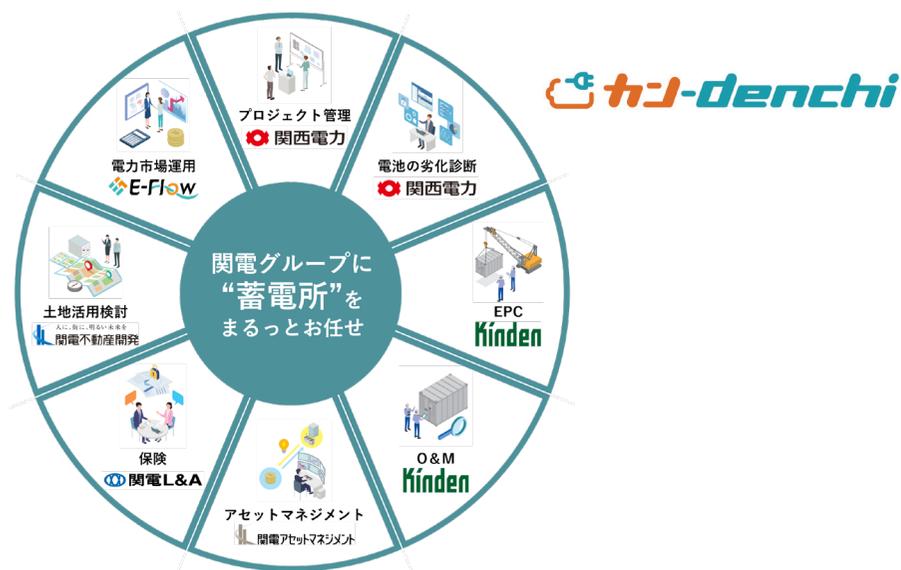
近年、電力需給の安定化や再生可能エネルギーの導入加速等に貢献する蓄電池の実装が進展する中、当社は系統用蓄電池開発のトップランナーをめざして事業を展開しています。具体的には、2024年12月に和歌山県で紀の川蓄電所(定格出力48MW)の運転を開始しています。また、2025年3月には北海道札幌市(合計定格出力100MW)、2025年5月には大阪府泉南郡(定格出力99MW)での国内最大級の蓄電所事業への参画を公表しました。



当社開発の系統用蓄電池の例(紀の川蓄電所)

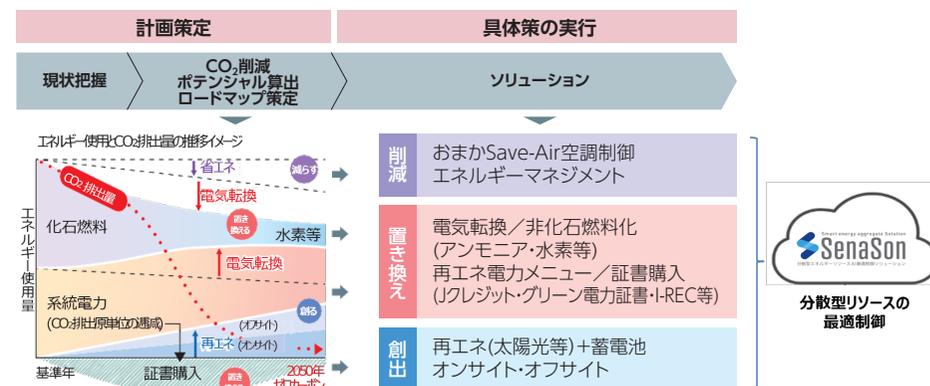
場 所：和歌山県紀の川市
 運転開始：2024年12月1日
 定格出力：48MW
 定格容量：113MWh
 敷地面積：約8,000㎡

また、蓄電所事業にかかるノウハウや実績、グループ会社の総合力を活かし、事業への参画を検討されるお客さまに対し、プロジェクトの事業化検討から開発支援、資金調達支援、電池診断を含む運営支援に至るまでを包括的にサポートする新サービス「カン-denchi」を2025年5月より全国で展開しています。



企業のサステナブル・ビジネスパートナーとして

各企業や自治体等におけるカーボンニュートラル実現に向けた取り組みの必要性はますます高まっています。当社グループは、お客さまのCO₂削減の計画策定段階から具体策の実行段階に至るまで、エネルギーの①「見える化」、②「創出」、③「削減」、④「置き換え」の4つのステップに応じたさまざまなソリューションを「ゼロカーボンパッケージ」としてご提供し、クラウド型制御システム「SenaSon」を搭載した太陽光オンサイトサービスや、当社グループ会社である「(株)関電エネルギーソリューション」が提供するユーティリティサービス等を通じて、お客さまの省CO₂・省コストの実現をサポートしています。



また、海外拠点を持つ日系企業においては、現地でのエネルギー対策ノウハウの不足や、人的・時間的制約等から、信頼できるパートナーによる支援ニーズが高まっています。

そのようなお客さまからのご要望に応えるべく、タイ、ベトナム、さらには2024年11月にインドネシアに現地法人を設立し、太陽光発電やコージェネレーションシステム、高効率チラー等を、設計から運営・保守まで一貫して提供し、多数の拠点で採用いただいています。さらに、再エネ導入や系統電力からの再エネ購入が難しい海外拠点に対しては、I-REC*等の環境証書を当社が調達し、長期的に安定してご提供できる体制も整えています。

※「I-REC」とは、I-REC for Electricityの略称で、再生可能エネルギーにより発電された電気の再エネ価値を証書化したものです。



サービス・プロバイダーへの転換 **VX**

スマートモビリティ社会における インフラ構築をめざして

モビリティの電動化には、街中の充電インフラ構築が求められています。当社は2024年4月から、公衆エリアに充電インフラネットワークを構築し、充電サービスを提供する「カンモビチャージ」を開始しました。全国の商業施設や家電量販店等に充電器を設置し、充電予約機能や時間帯別の料金設定機能を搭載する等、eモビリティがお客様の日常生活に溶け込むようサービス提供しています。

充電器



また、EVによる移動サービスの事業化を見据え、AIを活用した乗り合い移動サービスや、EVバスによる自動運転の実証にも取り組んでいます。大阪・関西万博では、EVバスの走行中ワイヤレス給電やエネルギーマネジメント、空飛ぶクルマの急速充電の実証と今後の社会実装を推進しています。



Kansai Electric Power Group Integrated Report 2024

ウェルビーイングな暮らしと 魅力的・持続可能なまちづくりへの貢献

当社は、暮らしのゼロカーボン化が加速する中でも、安心・快適・便利に生活を送りたいというお客さまのお声に対して、「電気」と「住宅設備リース(電化機器・太陽光発電・蓄電池設備等)」をパッケージ化して電化ライフ等を後押しする各種サービスを提供しています。

はぴeセット

また、お客さまの住まいのトラブルや暮らしの中で抱えるお困りごとに対しては、「はぴe暮らしサポート」や「かんでん暮らしモール」等により、充実した暮らしをお客さまへ提供できるよう、サービス開発や他社との連携を推進しています。

はぴe暮らしサポート かんでん暮らしモール

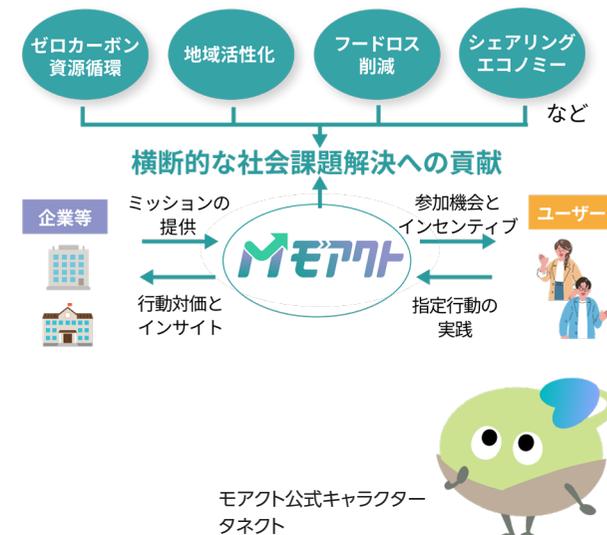
魅力的・持続可能なまちづくりに向け、再開発プロジェクト等において、当社グループサービスの実装等を通じたゼロカーボン社会の実現や地域価値向上をめざしています。具体的な取組みとして、「グラングリーン大阪」では、帯水層蓄熱や下水熱利用等の最先端技術を活用し、省CO₂をめざすエネルギーマネジメントを推進しています。

また、早稲田大学を含む大学との包括連携協定を通じて、産学連携によるカーボンニュートラルに資する研究と、それらを活用した「まちづくり×エネルギー×モビリティ」をコンセプトにした、スマートシェアリングタウンの構築をめざしています。

今後の展望とさらなる成長に向けた挑戦

当社は、持続可能な社会の実現をめざすべく、エネルギー業界の変革者として、サービス・プロバイダーへの転換に向けた挑戦を今後も続けていきます。

本挑戦にあたっては、技術革新と各市場での競争力強化を追求し続け、既存事業の拡大を進めていくことはもとより、社会課題の解決をめざすためのプラットフォームサービス「モアクト」や、ゼロカーボン社会の実現に向けた「デジタル金融サービス」の事業化等、新規事業領域への参入も推進しながら長期的・持続的な収益の確保をめざしていきます。



モアクト公式キャラクター
タネクト

サービス・プロバイダーへの転換 **VX**

情報通信・不動産

ハイパースケールデータセンター事業^{*1}

ハイパースケールデータセンター事業は当社グループにおける「中核事業が重なり合う領域」であり、当社グループの経営理念「『あたりまえ』を守り、創る」に沿ってデジタル社会の進展に向けた重要な価値をお届けします。

ハイパースケールデータセンターの開発・運営には、大規模で安定した電力供給や高品質な通信環境、自然災害リスクや拡張余地等を踏まえた的確な立地選定が不可欠であるとともに、ダウンタイムを生じさせない高度なオペレーションノウハウが求められます。

低廉な脱炭素電力や独自の光ファイバーネットワーク、不動産取得・開発・運用等、各中核事業においてこれまで培ってきた強みを活かして新たなシナジーを創出します。

※1:メガクラウド事業者が大容量のデータ処理を効率的におこなう、規模が極めて大きなデータセンター

パートナーシップ

2023年5月、当社は、米国のデータセンター開発・運用事業者であるCyrusOne(サイラスワン)社と「関西電力サイラスワン株式会社」を両社の折半出資にて設立しました。同社は、ハイパースケールデータセンターの開発・運用事業をおこない、参入後10年程度で1兆円以上を投資し、総受電容量^{*2}900MWの事業規模をめざしています。

CyrusOne社の有するメガクラウド事業者への営業力や顧客ニーズにかなったデータセンターの設計・建設ノウハウ、高度なオペレーション実績等のグローバルな競争力を強みに加え、世界最高品質のデジタルインフラサービスを提供することで、よりよい社会基盤・デジタルインフラを構築します。

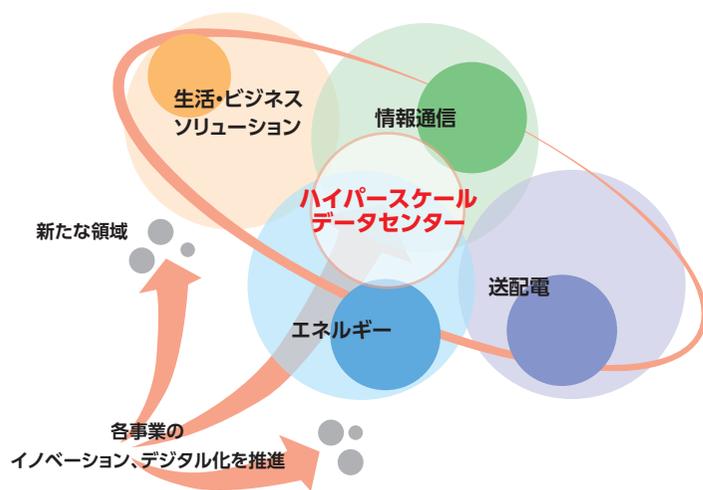
※2:データセンターの規模を表す指標(施設全体へ供給される電力容量)

事業開発

第1号案件「関西電力サイラスワンOSK1」として、京都府精華町において総受電容量70MW(IT容量^{*3}48MW)規模のハイパースケールデータセンターの開発を進めています。2027年度中の営業開始をめざし、2024年9月に土地造成工事を開始、2025年8月に建設工事を開始しました。

また、現在、後続案件についても主な需要地である首都圏・関西圏を中心に、開発予定地の取得に向けて取り組んでいます。国内のハイパースケールデータセンター市場は高い成長率が見込まれており、AI活用の進展に伴って需要が高まるものと認識しています。お客さまや社会のニーズ・課題に向き合い、適切な立地条件や設備仕様等を見極めながら、新しい社会の重要インフラの構築に取り組んでいきます。

※3:データセンターの規模を表す指標(IT機器稼働用として供給される電力容量)



CyrusOne **VX** KEP

A CyrusOne and Kansai Electric Power Company JV

CyrusOne-KEP Data Center Joint Venture Si
May 22, 2023



「関西電力サイラスワン株式会社」を設立



OSK1 外観イメージ



OSK1 地鎮祭

サービス・プロバイダーへの転換 **VX**

新たなサービス

(株)ポンドテック WEB

使用済みパソコンを回収・再生し、高品質な再生パソコンとして法人や個人に提供するリユース事業を展開し、電子廃棄物の削減に取り組んでいます。また、特例子会社と連携し、障がいのあるスタッフの方に、清掃やSSD換装、検品等の業務において活躍いただくことで、就労の選択肢拡大にも取り組んでいます。

本取組みを通じて、社会課題の解決にも取り組むことで、Vital Platformの実現をめざしています。



再生パソコンのSSD換装作業の様子。特例子会社との連携により、障がい者の活躍機会を創出

ゲキダンイイノ(同) WEB

従業員のアイデアから生み出された、時速5キロの自動走行モビリティiinoを通じ、モビリティサービス事業を展開します。モビリティサービスは2025年3月に高輪ゲートウェイシティと羽田空港で実装済みです。自動走行により歩行よりもさらに身体的な自由度が増すことで、場所と合わせてコンテンツを楽しみながらの移動体験を提供します。利便性以外の価値も兼ね備えた、これまでにない移動を実現し、走行する場所の魅力をより一層引き立てることに貢献します。



2025年3月高輪ゲートウェイシティに実装した自動走行モビリティ[type-S712]

(株)気象工学研究所 WEB

気象予測や防災・減災支援事業を展開しています。最先端の降雨予測技術や衛星画像を活用した太陽光発電予測技術等業界をリードする技術を有しており、これらの研究開発の成果は関連学会で多くの賞を受賞しています。直近ではタジキスタン共和国におけるダム・水力発電の効率化に向けた調査事業に関西電力グループとして参画する等、海外での取組みもおこなっています。今後も気象と防災の技術をもって社会の安全と安心に貢献します。



タジキスタン国におけるダム・水力発電の効率化に向けた外務省内での国際会議

サービス・プロバイダーへの転換 **VX**

担当役員メッセージ



サービス・プロバイダーへの転換に向けて

当社グループは、これまで電気・ガスを中心とする総合エネルギーや情報通信、生活・ビジネス関連等のグループサービスを組み合わせたトータルソリューションをご提供し、お客さまや社会の様々なニーズにお応えしてきました。

昨今、カーボンニュートラルに向けた社会的潮流をはじめ、デジタル化の加速や高齢化の進展等により、社会やお客さまのニーズが多様化・高度化しています。このような中においても当社グループを選び続けていただくために、社会やお客さまのニーズ変化や課題を敏感に感じ取り、国内外における既存事業の周辺領域や重なり合う領域を中心に、新たな価値の提供を加速してまいります。

新たな価値提供への取り組み

系統用蓄電池事業においては、事業化検討から運営支援まで包括的にサポートする「カン-denchi」を新たに展開しています。また、系統用蓄電池や再生可能エネルギーといった分散型リソースの拡大を見据え、E-Flow合同会社がお客さまが所有する分散型リソースを、AIを活用して最適な市場取引を行っていくことで、電力供給の安定化や再生可能エネルギーの導入加速に貢献してまいります。

法人分野のお客さまにおけるカーボンニュートラル実現にお応えするため、CO₂削減の計画策定段階から具体策の実行段階に至るまで、太陽光やEV、蓄電池、ユーティリティサービス等の様々なサービスとそれらの最適制御を行うクラウド型制御システム「SenaSon」を組み合わせ、お客さまの省CO₂・省コストの実現をサポートしています。

海外においては、東南アジアを中心に海外拠点を持つ日系企業の工場に対して、最適なエネルギーシステムの構築・運用に関するソリューション提案を通じて、省エネ・省コスト・省CO₂等の多様なニーズにお応えする取り組みを推進しております。

モビリティ領域では、公衆エリアに充電ネットワークを構築する「カンモビチャージ」を開始する等、電化シフトの支援・促進に向けて取り組んでおります。

家庭分野のお客さまに対しては電気と住宅設備リース（電化機器、太陽光、蓄電池設備等）をパッケージ化して電化ライフを後押しするとともに、「はぴe暮らしサポート」「かんでん暮らしモール」等による快適な暮らしサービスの提供・拡充を推進しております。

コミュニティ分野においては、地域社会の抱える課題やニーズを踏まえ、「まちづくり×エネルギー×モビリティ」のコンセプトのもと、スマートシェアリングタウンの構築に向けて取り組んでおります。

ハイパースケールデータセンター事業においては、CyrusOne(サイラスワン)社との折半出資にて「関西電力サイラスワン株式会社」を設立し、京都府精華町の第1号案件を皮切りに開発を進めております。

社会課題の解決をめざすためのプラットフォームサービス「モアクト」やゼロカーボン社会の実現に向けた「デジタル金融サービス」の事業化、電子廃棄物の削減と障がい者雇用の2つの課題解決に取り組む「パソコンのリユース事業」の推進、「より楽しく、より魅力ある」移動体験を提供する次世代型低速自動走行モビリティサービス「iino(イイノ)」の展開等、新たな取り組みを進めております。

脱炭素化の加速をはじめ、社会変化に伴いお客さまや社会のニーズが多様化する中、当社グループを引き続きお選びいただけるよう、徹底したお客さま視点でニーズや課題に向き合うことで、お客さまの期待を超える価値あるサービス・ソリューションを拡充・提供してまいります。

さらに、社会課題の解決を通して持続可能な成長を実現するために、常に変化を恐れず、私が先頭に立ってグループ一丸となって挑戦してまいります。